

# すべらない噺

江戸と上方より  
400年の時を超えて

米子を拠点に活動する上方落語家 桂小文吾 が、東西落語の違いの解説に加え落語一席を披露！  
さらに、弟子である米子市児童文化センター落語クラブのメンバー＆OBが小噺を披露！  
そして、江戸落語家 雷門喜助と上方落語家 森乃福郎が「ハートウォーミングな噺」をテーマに  
東西それぞれの落語をお届けします！にぎやかで楽しくてグッ！とくる90分間をお楽しみください。



わらべ家河童



わらべ家すずらん



わらべ家ふくろう



わらべ家かめ



上方落語家(米子)  
桂小文吾  
演目—長名息子



わらべ家くろ豆



上方落語家  
森乃福郎  
演目—鹿政談



わらべ家なの花



江戸落語家  
雷門喜助  
演目—芝浜

平成25年9月29日(日)

要申込み **入場無料**

開場 13:00 開演 13:30 終演 15:00(予定)

会場 米子しんまち天満屋5階てんまやホール(米子市西福原2-1-10)

お申込み 9月2日(月)10時より下記お問合せ先へお電話でお申込みください。  
なお、定員に空きがある場合は、未予約でも当日ご入場いただけます。  
※定員に達した場合はお断りする場合がございます。

【主催】(公財)鳥取県文化振興財団

【お問合せ】(公財)鳥取県文化振興財団 西部事務所 電話(0859)38-5127

※不在時はとりぎん文化会館へ転送されます



# 出 演 者 の ご 紹 介



森乃福郎  
もりのふくろう

昭和47年 3月 大学卒業と同時に初代森乃福郎に師事。笑福亭福三の芸名で高座デビュー  
 平成12年 10月28日 二代目森乃福郎を襲名。京都・先斗町歌舞練場を皮切りに東京・大阪で襲名披露落語会を開催  
 平成13年 この年から京都・大阪で年1回ずつの森乃福郎独演会を開催中

デビューまもない頃から京都府立芸術会館で「笑福亭福三勉強会」を開催し、全20回の毎回ネタ下ろしに挑み、大阪では14回を数える一門落語会を主催するなど、積極的な落語会活動を展開。また京都で全7回開催した独演会「福三の会」では、シンセサイザーとのコラボレーションや忠臣蔵特集などの試みに挑戦してきた。笑福亭福松・桂文乃助直系の貴重な古典落語を先代福郎から譲り受けた上に、時代にJUST NOWな新作落語の創作に早くから取り組み、古典と新作のバランスのとれた持ち多さを誇る。また漫談、各種イベントの司会はもちろん、スポーツ、読書から映画、歌舞伎鑑賞、うまいモンの食べ歩きまで、多岐にわたる趣味と豊富な話題を生かしての講演活動も好評。



雷門喜助  
かみなりもんきすけ

昭和38年 初代雷門福助の弟子となり 芸名<雷門福二>で初高座  
 昭和41年 八代目雷門助六の門下となり <雷門喜助>と改名し落語芸術協会に所属  
 昭和43年 NHK漫才 落語コンクール <落語の部>で最優秀賞受賞  
 昭和63年 岡山県立美術館にて <雷門一門会>において師匠八代目助六より真打ちに認定  
 平成8年 岡山県瀬戸署 お笑い交通安全講話推進委員 岡山県交通安全功労賞受賞  
 平成11年 お笑い療養士に認定。赤坂町福祉サービスセンター 春の家介護施設にて7年間出演  
 平成13年 ホームヘルパー2級取得 交通栄章緑十字銅賞受賞  
 平成19年 赤磐市公民館出前寄席に毎年15回、平成6年より出演中  
 平成20年 山陽学園大学 非常勤講師  
 全国各地の企業講演、交通安全大会、PTA総会、学校寄席、老人連合会、各落語会、文化講演、司会、レポーター、CM等  
 現在フリーで活躍



桂小文吾  
かつらごんご

昭和26年 14才の時、五代目 桂文吾に弟子入り。15才で六代目 桂小文吾を名乗る。「上方落語」宝塚若手落語会、三越落語会等に出演  
 昭和32年 20才の時、宝塚新芸座の座員になり、舞台、テレビ、映画に出演、その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退  
 縁あって山陰に住むことになり、ある会社に勤務(後に定年退職)  
 平成10年 その頃より落語の依頼あり。これを機会に上方落語の先輩、後輩と交流を図り、小文吾流落語を広めるため、山陰の噺家として復帰  
 米子市児童文化センターにて、落語クラブの講師を務める  
 平成13年 NHK鳥取放送「桂小文吾の出前落語」(18本収録)に3年間出演  
 平成17年 「古今東西噺家紳士録」に登録される。また、東京の出版社(彩流社)より桂小文吾の事を書いた本が全国発売される。  
 著者・瀧口雅仁「噺家根問・雷門小福と桂小文吾」  
 平成19年 4月~平成23年3月中海テレビにて「桂小文吾落語会」(30本収録)  
 平成21年 大阪天満天神「繁昌亭」に出演、倉吉市豊田家住宅の豊田亭上方落語寄席にて「桂小文吾落語会」を年4回開催  
 また、桂小文吾作詩作曲による、唄「小話人生」、「米子だんだん」をCDにして発売  
 現在、中海テレビ・レギュラー番組「ふるさとタイムトリップ」のナビゲーターとして出演

## 米子市児童文化センター落語クラブ&OB 桂小文吾門下わらべ家一門



わらべ家河童

【本名】出井 幹太(いずい かんた)  
 【年齢】14歳(後藤ヶ丘中学校2年生)  
 【落語歴】6年(落語クラブOB)  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 話すのが好きで、落語がおもしろいと思い始めました。  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 どんな話でもおもしろいオチがあるところ。  
 一人でたくさんの人を演じられるところ。  
 ◎公演に向けて一言  
 みなさんに笑っていただけるようがんばります。



わらべ家なの花

【本名】野口 結菜(のぐち ゆな)  
 【年齢】10歳(就将小学校5年生)  
 【落語歴】4年  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 おもしろそうだったから。  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 聞いてくれる人がいるので、はりきって  
 できるところ。  
 ◎公演に向けて一言  
 新ネタなので、間違えずに頑張りたいです。



わらべ家くろくろ

【本名】米田 壮一朗(よねだ そういちろう)  
 【年齢】14歳(後藤ヶ丘中学校2年生)  
 【落語歴】5年(落語クラブOB)  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 わらべ家河童くんの発表会を見ておもしろい  
 思い、その後、河童くんに誘われて始めました。  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 ポケとツッコミが一人でできるところ。  
 ◎公演に向けて一言  
 みなさんに笑ってもらえたら幸せです。



わらべ家すずらな

【本名】角 菜々花(すみ ななか)  
 【年齢】10歳(福生東小学校4年生)  
 【落語歴】1年  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 TVで見て、落語家になりたいと思ったから。  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 一人で二役やるのが好き。  
 ◎公演に向けて一言  
 児童文化センター以外で落語をするのは、  
 初めてなので頑張りたい。



わらべ家くろぢ

【本名】安達 淳晴(あだち じゅんせい)  
 【年齢】10歳(五千石小学校5年生)  
 【落語歴】3年  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 「笑点」の三遊亭圓楽(6代目)さんにあこがれて  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 ネタで笑わせるところ。笑ってくれると自分も  
 うれしい。大爆笑になると自分も笑っちゃう。  
 ◎公演に向けて一言  
 お客さんに笑ってもらえるように、失敗しない  
 ように頑張りたい。



わらべ家かめ

【本名】石井 大雅(いしい たいが)  
 【年齢】10歳(箕蚊屋小学校4年生)  
 【落語歴】3年  
 ◎落語を始めたきっかけ  
 お母さんに進められた。  
 ◎落語の好きなこと・おもしろいところ  
 先生が作った小話がおもしろいけど覚える  
 のが難しい。  
 ◎公演に向けて一言  
 成功できるように頑張る。